

ラベルニュース

No399

平成 30 年 4 月号

東京都ラベル印刷協同組合
☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4編集:広報・情報システム委員会
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

日栄化工を招き開催された支部会

今年度最後の支部会が、三月十六日(金)午後六時より、東西合同で台東区上野の「翠鳳」で開催され、協賛会の日栄化工を招き、粘着フィルムの新製品についての説明を受けました。

初めに西支部の高橋邦浩支部長が挨拶した後、日栄化工東京支店員印材営業部マネージャーの広畑一郎氏が、同社の主力製品である粘着フィルムの新製品を

今年度最後の支部会を開催 日栄化工を招き粘着フィルムの紹介

紹介しました。広畑次長は「当社はフィルムに特化した会社で、創立六十周年を迎えることが出来ました。最近ではスマートフォンなどの中に入れての両面テープや表面に貼る保護テープのキャリア材として使われています」と挨拶し、この後同社の最近の粘着フィルムを数点紹介しました。

今回紹介された主なものは、「高透明PET粘着シート」「ハイパータックシリズ」「耐候ポリオレフィン粘着シート」「エコ・セラタフシリーズ」「超耐候ハードコートPETラミネート」

「超耐候ハードコートPETラミネート」は、印刷用極薄粘着シートと、「印刷用極薄粘着シート」PET6ミクロンです。

「超耐候ハードコートPETラミネート」は、印刷用極薄粘着シートと、「印刷用極薄粘着シート」PET6ミクロンです。この他にも表面基材にむ漆喰をコーティングした「カペタン」シリーズも紹介されました。



商品説明をする広畑氏

ウルトラ50は、同社の特殊コーティング技術によりキズが付きにくく、紫外線に強いハードコートラミネートで、屋外耐候三年保証で、屋外のサイングラフィクスや印刷物のラミネートに最も適しているとされています。

また、極薄粘着シートの

第52回通常総会を開催

5月22日(火)ホテルラングウッド

参加は組合員の権利です!

「ものづくり・商業・サービス 経営力向上支援補助金」公募受付中

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の公募が始まっています。同事業の概要は、足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中企業・小規模事業者が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援するものです。

公募期間

・ 公募開始…平成三〇年二月二十八日（水）
・ 締切…平成三〇年四月二十七日（金）〔当日消印有効〕

対象要件としては、認定

支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業者・小規模事業者であり、左記の要件のいずれかに取り組むものであること。

※「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、三〜五年で「付加価値額」年率三％及び「経常利益」年率一％の向上を達成できる計画であること、または「中小ものづくり高度化法」に基づ

公募要領等

公募要領や応募申請様式は、補助事業を実施する場所に所在する地域事務局が発行したものをご使用ください。指定様式以外で応募した場合は、原則、不採

択となりますのでご注意ください。また、応募申請書の作成にあたっては、公募要領の注意事項を十分にご確認ください。

詳細は左記HPまで。

<https://www.tokyochuo-kai.or.jp/flash/1580-2018-03-02-17-00.html>

オペレーター不足が深刻に
組合が緊急アンケート調査を
現状は高齢化が顕著に

も特にオペレーターの人手不足は深刻化しており、「辞めてしまったが、募集してもなかなか人がいない」という声を多く聞きます。現在は足りているが、高齢者なので、いつ辞められるか分からないし、その補充ができるかが不安だ」という声も多いようです。

シール印刷のオペレーターは、覚えるのに時間が掛かり、一人前になるには二、三年は必要だと言われており、辞められてからでは間に合わないということもあり、人手不足倒産ということも、対岸の火事視できないことから、組合では緊急にアンケート調査を実施することにしましたもの。

工業統計調査に回答を

東京都が六月一日現在

いま、業界ではオペレーター不足が深刻化しています。このため組合では近く「オペレーター不足についての緊急アンケート調査」を実施する予定です。現在、日本全体で人手不足が大きな問題になっていますが、シール印刷業界で

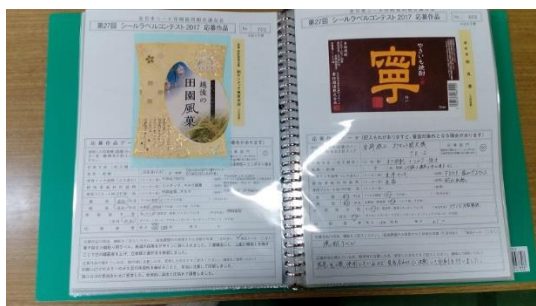
東京都は、経済産業省所管の工業統計調査を平成三〇年六月一日現在で実施します。製造業を営む事業所に五月中旬から調査員が伺いますので、調査へのご回答をお願いいたします。

第二十七回シールラベルコンテスト 全応募作品掲載の作品集の販売中

全日本シール印刷協同 ラベルの印刷・デザイン組合連合会(田中祐会長)で に関わる方にとっては貴重は、このほど「第二十七回 な資料、またビジネスのヒシールラベルコンテスト ントになるものとして期待応募全作品集」の販売を開始しました。

同作品集は第二十七回 十一冊のみですので、希望シールラベルコンテストに 者はお急ぎ下さい。価格は応募した全作品を網羅して、 組合員・会友・協賛会員は作品制作に際しての仕様の 一部二万四千元(税・送料込)印刷機械メーカー、使用イ (税・送料込み)です。ンキ、使用原紙材料銘柄な どの他、作品の用途・機能・ 購入希望者は左記まで。制作秘話などが掲載されて 全日本シール印刷協同 あり、A4クリアファイル 組合連合会 ☎〇三・五八 に応募全作品の実物を貼 一二・五七・七七 付・印刷データシート付。

また、第二十八回世界ラベルコンテストでの最優秀作品五作品、審査員特別賞一作品、また、最優秀賞の中から特に選ばれたベストオブザベスト二作品(世界コンテストによる印刷方式の中から最優秀賞を受賞した作品の中よりさらに一作品を選出)も掲載、さらにコンテストの総評・所感も掲載しています。



進化するデジタル印刷 — オンデマンド出版から バリアブル印刷まで — 印刷博物館にて開催中

最近では出版印刷、商業印刷、パッケージ印刷などの分野で、幅広く活用されるようになってきました。デジタル印刷が進化することで、印刷物はどうのように広がり、私たちの暮らしはどう変化していくのでしょうか。ここでは、デジタル印刷によって製作された多くの事例が紹介されています。

デジタル印刷が広がることにより、私たちの身の回りには印刷物はどういうに変化していくのかを考えます

会 期…三月二十四日(土) 六月一日(日)

休館日…毎週月曜日(ただし四月三〇日は開館)、五月一日(火)

開館時間…午前十時～午後六時

入場料…無料

※印刷博物館本展示場にご入場の際は入場料が必要です。

また、これに関連する各種セミナーも行われますので、一度足を運んだらいかがでしょうか。

印刷博物館 P & P ギャラリー で「進化するデジタル印刷 — オンデマンド出版からバリアブル印刷まで —」(後援: 日本印刷産業連合会、日本印刷技術協会) が以下の日程で開催されます。またこれに関連する各種セミナーも行われます。ここ最近「オンデマンド印刷」「プリントオンデマンド」といったデジタル印刷の名称をよく見かけるようになりました。デジタル印刷は従来の印刷とは異なり、「版」を使用しない無版の印刷です。コンピュータでつくったデータを、デジタル印刷機を使って直接、用紙などに出力します。

本来違法である残業を認める36協定とは

■36協定とは

現在、「残業が全くない会社はほとんど無い」と言っても過言ではないと思います。しかし、労働基準法

では「法定労働時間」というものが定められていて、1日8時間1週間で40時間と労働時間が制限されています。(ただし、業種によって例外もあります。)

しかし、実際に業務を行っているところの時間内だけでは仕事が終わらないというケースが非常に多くみられます。そこで、法定労働時間をオーバーして労働させることができる、「36協定」を締結する方法があります。

使用者とその事業場の労働者の過半数で組織される労働組合とで36協定を締結し、労働基準監督署に届けることで効力が発生します。(効力発生は、受理された日付以降になります。)

使用者と労働者の間で協定を結び労働基準監督署に届け出ること、本来違法である残業を認めてもらう、ということ、

このように「36」というのは、労働基準法36条が根拠になっています。由来しています。36協定の届け出が完了すると効力が発生するわけですが、無制限に時間外労働をさせて

もいいというわけではありません。時間外労働は、あくまでも臨時的なものである必要最小限にとどめるものとされています。そこで、「その時間外労働だけでは足りない。さらに延長して労働させたい。」

「特別条項」付きの動労協定を締結する方法もあります。また、36協定の限度時間が適用されない業種もあります。例えば、土木・建築等の建設事業、自動車の

運転業務、新商品・新技術の研究開発、その他厚生労働省労働局長が指定したものです。これらの業種は適用除外となります。

時間外労働を課した場合、当然ながら割増賃金を支払う必要があります。ご参考までに、割増率を以下に挙げておきます

1 か月の時間外労働の合計が60時間まで…25%増
60時間を超えるとき…50%増
(ただし、中小企業の場合位は猶予措置があり、25%増でも可)

また、36協定の限度時間が適用されない業種もあります。例えば、土木・建築等の建設事業、自動車の

36条では、法定労働時間をオーバーして残業や休日労働をさせる際は、前もって労使間で協定を締結しなければいけないとされています。つまり、36協定なしには時間外労働や休日労働をさせてはいけないこととなります。

36協定があるからといって、無制限に残業や休日出勤をさせられるというわけではありません。1週間、1ヶ月、1年などの決められた期間ごとに延長可能な時間数の上限が決まっています。

就業規則の作成と届け出は常時十人以上の労働者を使用する使用者と規定されているのに対し、36協定は労働者がたった1人でも法定の労働時間を超えて労働(法定時間外労働)させる場合、又は、法定の休日に労働(法定休日労働)させる場合には、届け出が必要となります。その意味では全ての企業に影響する協定と言うことができます。

《参考資料》

<https://kiyosapo.com/36k>

■高齢者に多い誤えん性肺炎とは

食べ物や唾液などを飲み込む働きを「えん下」といいます。えん下した食べ物や唾液などは、口から食道へと送られます。

No152 健康がいちばん!

なぜ高齢者に多い誤嚥性肺炎

体力や抵抗力の低下が要因に

高齢者に多い理由は主に4つあります。

えん下障害

高齢になると、うまく飲み込むことができないうえん下障害が起こりやすくなります。病気が原因で起こることも多く、えん下障害を起こす病気の半分以上を脳卒中が占めています。そのほかに、パーキンソン病やアルツハイマー型認知症なども原因となります。また、誤えん性肺炎は、寝たきりの人に多く発症します。

せき反射の働きの低下

通常、誤えんが起ると、反射的にせきをする「せき反射」により、気管に入ったものを口に戻します。せき反射は睡眠中にも働きますが、高齢者や脳卒中を起した人は、せき反射がうまくできないことが多く、その場合は睡眠中の呼吸に伴って唾液などが少しずつ気管に入っていきます。その結果、誤えん性肺炎が起こることがあります。

口の中が清潔に保たれていない

特に持病や何らかの後遺症がある高齢者では、歯みがきが不十分だったり、飲み込みきれずに食べかすなどが口の中に残っている状態があります。そうした状態では細菌が繁殖しやすく、飲食物や唾液と一緒に気管に入ると、誤えん性肺炎を発症しやすくなります。肺炎の原因で最も多い肺炎球菌という細菌は、国内の高齢者の3〜5%の鼻やのどの奥に住みついていることがわかっています。また、歯周病の原因となる嫌気性菌が誤えん性肺炎の原因になることもあります。

体力や抵抗力の低下

高齢者や重い病気のある人は、体力や抵抗力が低下していることが多く、誤えん性肺炎を発症しやすくなります。

仕組み

通常、食べ物や唾液を飲み込むときは、気管にフタがされ、同時に食道が広がるので、食べ物や唾液などは食道にだけ入ります。しかし、高齢者や、脳卒中などで体にマヒがある人は、このフタの働きが低下して、飲み込むときに気管

がしっかり閉じにくくなるため、誤えんが起りやすくなります。誤えんした際に、口の中やのどにいる細菌やウイルスが食べ物や唾液と一緒に気管から肺に入ると、誤えん性肺炎が起こります。

■誤えん性肺炎の症状

一般に、肺炎を発症すると38℃以上の発熱や強いせきなどが起りますが、高齢者や重い持病がある人に多い誤えん性肺炎では、そうした典型的な症状が現れにくく、「ハアハアと呼吸が浅く速い」「何となく元気がない」「体が異常にだるい」「食欲がない」といった症状が多くみられます。

「せん妄」といって、話す言葉やふるまいなど意識に混乱がみられることもあります。

本人が体調の変化に気づいていないこともあるので、周りの人もいつもと違う様子を見逃さないようにしてください。

《参考資料》

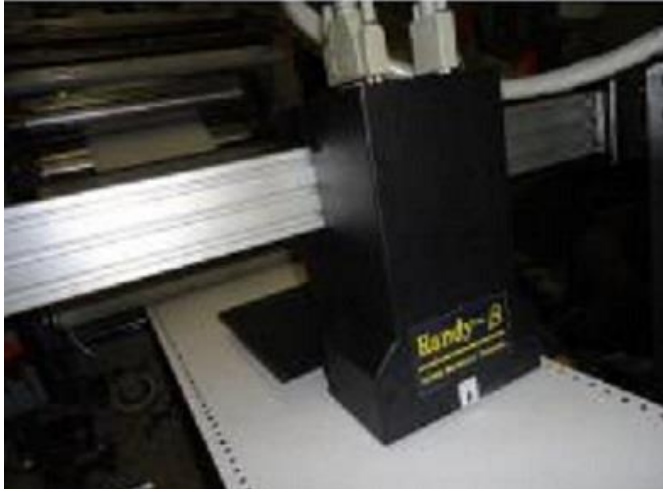
<https://www.nhk.or.jp/k>

[enکو/atc_562.html](https://www.nhk.or.jp/k/enko/atc_562.html)

このように本来は食道に送られるものが、誤って気道に入り込んでしまうことを「誤えん」といいます。この誤えんによって起こるのが「誤えん性肺炎」です。誤えん性肺炎は、六十五歳以上の高齢者に起こる肺炎の多くを占めています。

■高齢者に多い理由

新次元のカメラ「Handy-β」開発 金属箔や透明ニスの見当監視が



(有)内田マシナリー商会
（千葉県八千代市高津四一
二の四三 ☎〇四七・四五
九・四五七〇）では、従来不
可能とされていた金属箔や
透明ニスの見当監視が出来
る新次元のカメラ「ハン

ディベーター（Handy
β）を開発し、販売を開始
すでに納入稼働しています。
金属箔の見当監視はそ
の部分が黒く映り、トンボ
の識別もできない状態でし
たが、新しいカメラではト
ンボもハッキリと見え、

また透明ニスも、紙面でも
透明フィルム上でも良く見
えるようになりました。
従来の静止画像装置で
は、鏡面素材が反射するた
めに、監視の難しかった金
属箔、透明ニス、糊等の監
視を可能にすることに特化
したカメラ部を特別設計す
ることに成功しました。
さらにホログラム印刷
の見当監視も可能で、もち
ろりんリモコン部スイッチの
切り替えにより、通常の紙
ラベル等の色柄重視の監視
も可能です。
特長としては五〇倍の
拡大監視、作業効率、印刷
スピードの向上、印刷制度
向上、ヤレ紙の減少、準備
時間の短縮等々が図れます。
同機は二月に開催され
た「第十九回ラベル関連ミ
ニ機材展」にも急きょ出展
し、来場者の注目を集めま
した。

導入メリットとしては、
① 五十倍拡大監視
② 作業効率向上
③ 印刷精度向上
④ ヤレ紙の減少
⑤ 準備時間の短縮
等が上げられている。
カメラ部サイズは、D八
三×W一六二×H二三八mm
この他にも、業界最小カメ
ラ63mm搭載した静止画
像装置「Handy V.2」
があり、印刷見当や色柄を
最大倍率50倍で、監視す
ることが可能です。

無色透明のニスや糊・減
感インク等も、特殊LED
で、監視することが可能で
す。オプションの裏ストロ
ボ装置を使用して、裏面見
当を監視することも可能で
す。
同社の他の製品につい
てはホームページで。

同社の内田社長は「印刷
スピードが格段にアップし、
ヤレ紙の節減ができるため、
原材料高の今こそぜひ導入
した。」
[https://www.ipros.jp/co
mpany/detail/2032322/cat
alog/](https://www.ipros.jp/company/detail/2032322/catalog/)